



プラネタリーヘルスレポートカード ド

長崎大学医学部



2023-2024 作成チーム

- 学生メンバー: 出口 明香里*, 佐瀬 光雄、尾前 公一、川上 日菜子
- 教員メンバー: 宮崎 拓郎、森保 妙子、古賀 智裕、近藤 智恵子、津留崎 和義、渡辺 知保
- *連絡先: 佐瀬 光雄, bb20121042@ms.nagasaki-u.ac.jp

概要

全体評価	C+
Curriculum	C
<ul style="list-style-type: none">長崎大学医学部は、プラネタリーヘルスをここ数年にわたって推進し続けており、カリキュラムにもそれが反映されつつある。一方、気候変動と健康を主題とした講座(講義)はまだほとんどない。提案: 教員にアンケートを実施し、プラネタリーヘルスについてどの程度認識や理解があるか調べることで、関連するカリキュラムの医学部内の一層の推進につながると考えられる。	
Interdisciplinary Research	A
<ul style="list-style-type: none">長崎大学は過去2年間、プラネタリーヘルスに関する研究に関して非常に高い評価を受けてきたが、今年度も同様の結果が見られた。大学のウェブサイトをわかりやすく改善したこと、COP27に合わせてシンポジウムを開催したことは評価に値する。提案: プラネタリーヘルスに関する研究成果や知識を学内だけでなく一般に広める活動を同時並行で行った方がよい。	
Community Outreach and Advocacy	C-
<ul style="list-style-type: none">3年間の調査から、長崎大学医学部が長年にわたり、地域との交流、普及、教育活動に取り組んできたことが明らかになった。一方で、学長によるリレー講義や定期的な発信の終了はプラネタリーヘルス推進において懸念される点である。提案: プラネタリーヘルスを一つのキーワードとし、一般市民を対象とした講演活動を開催するべきである。	
Support for Student-Led Initiatives	C
<ul style="list-style-type: none">プラネタリーヘルスに関心を持つ学生や組織に対する支援は整っているが、そうした活動自体の情報を容易に得られるツールはほとんどない。プラネタリーヘルスに関するウェブページは開設されているが、学生がそれを利用して研究活動に参加したり、自分の興味を探求する場を見つけたりするまでには至っていない。提案: 学生用のページをプラネタリーヘルスに関するウェブページに組み込むべきであり、専門家だけでなく学生にも役立つものにすべきである。	
Campus Sustainability	C+
<ul style="list-style-type: none">キャンパスにおけるサステナビリティの取り組みの多くは、国の法律に基づいており、長崎大学が独自に取り組むものはほとんどない。これはそういった取り組みが学生や学生団体、それらをサポートする教職員主体のものではないことが原因と考えられる。提案: 今回のPHRC作成活動のような学生主導の活動をさらに支援し、全学的な取り組みとしてキャンパスサステナビリティを推進すべきである。	

目的

「地球の健康」は人の健康に等しい

プラネタリーヘルス・アライアンスは、プラネタリーヘルスを「地球の自然、生態系に対する人間の破壊が、人間の健康と地球上のすべての生命に与える影響を分析し、対処することに焦点を当て

その解決を目指す学際的分野であり、また社会運動でもある」と説明している。この定義は、水不足、食糧システムの変化、都市化、生物多様性の変化、自然災害、気候変動、土地利用や土地被覆の変化、地球規模の汚染、生物地球化学的流れの変化など、環境が健康に影響を与えるあらゆる側面を包含することを意図している。人類の健康は環境に依存しており、その環境は急速に変化し破滅の方向に進んでいる。世界保健機関(WHO)は、気候変動を「21世紀における世界の健康に対する最大の脅威」と呼んでいるが、多くの医学部では、人類の健康に対する、この脅威が非常に緊急なものであることを反映した教育活動をしていない。

将来の医療に携わる専門家として、私たちは、人為的な自然環境の変化が患者の健康に及ぼす影響に対処する準備をしなければならない。この準備は、私たちの医学教育を提供する医学部の教育活動に委ねられている。①気候変動やその他の人為的な環境変化が健康に与える影響について医学生を教育し、②健康への影響と解決策をよりよく理解するための研究を生み出し、④関連する学生の取り組みを支援し、⑤持続可能な実践を可能な限り取り入れ、③環境の脅威から最も影響を受けている周囲の地域社会と関わりを持つことについて、(丸数字は該当する項目)私たち学生が声を上げて教育機関にその必要性を訴えていくことが不可欠である。また、気候変動や環境の脅威は、社会的弱者(例えば、有色人種、健康の脅威の影響を受けやすい高齢者など)により大きな影響を与えるため、これらの問題は本質的に公平と正義の問題であり、その点でも重要である。

医学部におけるプラネタリーヘルスに対する認知や教育活動の必要性を高めることを目的として、私たちはプラネタリーヘルス・レポートカード(Planetary Health Report Card)を作成しました。この医学生主導の調査活動は、5つの項目に関する一連の質問に基づいて、国内外の医学部を比較することを目的としている: 1) プラネタリーヘルスカリキュラム、2) 健康と環境に関する学際的研究、3) 学生のプラネタリーヘルスに対する大学の支援、4) 環境健康への影響を中心とした地域社会への働きかけ、5) 医学部キャンパスの持続可能性。

用語集

Definitions:

- **プラネタリーヘルス:** プラネタリー・ヘルス・アライアンスは、「人類文明の健康と、それに影響する生態系の状態」と表現している。例えば、気候変動、生物多様性の減少、耕地や淡水の不足、汚染といったテーマは、すべてプラネタリーヘルスに該当する。プラネタリーヘルスも従来の「**environmental health**」も、極端な気温、化学物質、媒介感染症など、人間の健康と外部環境との関係を調べるものである。プラネタリーヘルスは、人間が引き起こした自然破壊に関連する、潜在的な健康への被害について特に着目している。そのため、人間の健康に焦点を当てたプラネタリーヘルスは、医学部教育に適した分野である。本レポートカードでは、このような広範なトピックを指すために「プラネタリーヘルス」という用語を使用しているが、「プラネタリーヘルス」という用語が使われていなくても評価の対象になることがある。
- **持続可能な医療:** Academy of Royal Collegesが定義するように、持続可能な医療とは、医療環境における経済的、環境的、社会的な制約や要求のバランスをとることで、将来の世代に良質な医療を提供する能力を確保することである。持続可能な医療システムは、人々の健康を維持し、疾病負担を軽減し医療の利用を最小限に抑える。
- **Education for Sustainable Healthcare (ESH)(持続可能な医療のための教育):** とは、医療医療者を養成する教育活動(医学教育)の中で、現在および将来の医療従事者に、環境に配慮した持続可能な医療サービスを提供するための知識、態度、技能、能力を身につけさせ、医療が環境に与える甚大な影響を軽減するための一連のプロセスであると定義されている。プラネタリーヘルス教育は、それ自体が目的ではなく、この教育の不可欠な一部である。なぜなら、プラネタリーヘルスに関する知識は、持続可能な医療(ESH)の必要性を十分に理解するために必要であるだけでなく、真に健康を守り促進するために必要な幅広い知識の一部でもあるからである。すなわちESHは以下の持続可能なヘルスケアセンターの3つの重要な学習目標で構成されており、プラネタリーヘルス教育は最初の学習目標に該当し、学習成果2と3を達成するための基本的要件となっている：
 - 1. 環境と人間の健康がさまざまなレベルでどのように相互作用しているかを説明できる。
 - 2. 医療、保健システムの持続可能性を向上させるために必要な知識と技能を実証する。
 - 3. 市民の健康を守り促進するという医師の義務が、地域および地球環境に依存する形でどのように形成されるかについて論じることができる。
- **医学部(Medical School)vs. 大学(Institution):** レポートカードで「医学部(Medical School)」と明記されている場合は、医学部が提供するカリキュラムやリソースのみを指しており、大学内の他部門(例:学部(米国)、その他の関連講座(例:公衆衛生学、人口保健学))による教育や活動は含まれていない。一方、レポートカードで「大学(Institution)」と明記されている場合は、より広く大学を指している。医学生が適切にアクセスできるリソースであれば、そのリソースが大学のどこから来たものであろうと、医学生を特に対象としたものであろうと、この指標を満たすことができる。
- **ばく露歴(の確認)(Environmental history) (Metric #19 in Curriculum Section):**これは、医療従事者が診療中に患者のばく露や環境因子を明らかにするために行う一連の質問

である。歴史的には、農薬、アスベスト、鉛のようなばく露を考慮することが含まれてきたが、気候変動によって形成された現代では、山火事の煙への暴露、大気汚染、洪水後のカビなどにまで考慮する必要がある。主な構成要素としては、居住地、職業歴、日常生活における食物と水の供給源（例えば、工業的飼養事業による食肉、汚染された水での定期的な漁業、清潔な飲料水へのアクセス）、大気汚染への暴露などがある。

- **選択科目：**選択科目 (elective)とは、医学生が参加することができるが、コア・カリキュラムの必須科目ではない、オプションの講座や講義を指す。一般的に、これらの選択科目は前臨床課程(日本でいう教養教育課程)で行われるが、学校によって異なる。
- **Other considerations:**あなたの医学部に2つの異なるカリキュラムを持つ「トラック」が複数ある場合（例えば、ハーバード大学医学部にはPathwaysとHSTカリキュラムのトラックがある）、各トラックの成績表を記入するか、1つの成績表だけを記入し、得点が異なる場合は各トラックの得点を平均することができます（例として、2021年ハーバード大学またはオックスフォード大学の成績表を参照）

Added to our resources this year, the Planetary Health Report Card [Literature Review by Metric](#) collates the evidence behind each of the metrics in the Planetary Health Report Card. It serves as a collection of references for further learning and a resource for those advocating for increased planetary health engagement at their institutions.

プラネタリーヘルスカリキュラム

本セクションの概要: このセクションでは、医学部のカリキュラムに、関連するプラネタリーヘルスに関するトピックが組み込まれているかどうかを評価する。今日の医学生は、気候変動やその他の環境変化による健康への影響に取り組む最前線に立つことになる。従って、医学生がこれらの変化による健康への影響や、より広い意味でのプラネタリーヘルスに関する問題や原則を理解するよう教育を受け訓練されることが極めて重要である。ベクターが媒介する疾病の地理的变化、大気汚染の健康への影響、環境衛生上の不平等、災害対応の原則などのトピックは、すべての医学部のコア・カリキュラムの一部でなければならない。

Curriculum: General

1.1. あなたの医学部は、昨年度、学生に持続可能な医療に関する教育(ESH)またはプラネタリーヘルス教育に参加させる選択科目(学生が選択したモジュール)を提供しましたか。	
3	はい、医学部では過去1年間に、ESH/プラネタリーヘルスに主眼を置いた選択科目を2つ以上開講しました。
2	はい、医学部では過去1年間に、ESH/プラネタリーヘルスに主眼を置いた選択科目を1つ開講しました。
1	医学部には、ESH/プラネタリーヘルスの健康に主眼を置いた選択科目はないが、プラネタリーヘルスに一部関連する講義を含む選択科目はある。
0	いいえ、医学部では過去1年間、プラネタリーヘルスに関する選択科目や、ESH/プラネタリーヘルスに関するトピックを含む選択科目は開講していません。
評価理由: 長崎大学には「プラネタリーヘルス入門」という授業があり、プラネタリーヘルスの概要について学ぶことができるが、1年生の必修科目であり、学生の興味に応じて選択できるものではない。(0点)	

Curriculum: Health Effects of Climate Change

1.2. 医学部のカリキュラムでは、猛暑による健康リスクと気候変動の関係を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている。
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。 ※例 日本においてはゼミ、選択可能な研究プログラムなど
0	このトピックに関する科目、講座はない
Score explanation: 長崎大学医学部4年の公衆衛生学の講義で、熱中症とその被害について取り上げている。(2点)	

1.3. 医学部のカリキュラムでは、異常気象が個人の健康や医療制度に及ぼす影響を取り上げてい

ますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている。
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
<p>評価理由: 外科治療学では、「環境異常と生体反応」というテーマで講義が行われている。医学生は、コア・カリキュラムのこれらの科目を通じて、異常気象などについて深く理解することができる。(3点)</p>	

1.4. 医学部のカリキュラムでは、気候変動が感染症のパターンの変化に与える影響を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
<p>評価理由: 長崎大学の有吉教授は、感染症系の講義の中で、気候変動が新興・再興感染症の発生要因であることを指摘し、社会の変化と感染症の脅威が密接に結びついていることを強調した。(3点)</p>	

1.5. 医学部のカリキュラムでは、気候変動や大気汚染による呼吸器系への健康影響を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
<p>評価理由: 長崎大学医学部3年生の呼吸器系の授業では、受動喫煙が原因のCOPDと、粉塵を吸い込むことで発症する<i>dust pneumonia</i>を扱う。また、発症しやすい職場や、この病気に関わる社会の動きについても解説している。(3点)</p>	

1.6. 医学部のカリキュラムでは、暑さの増加など、気候変動による循環器系への健康影響について取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている

2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 心血管系疾患やその危険因子に関する講義では、気候変動や猛暑についての言及はない。	

1.7. あなたの医学部のカリキュラムでは、環境悪化や気候変動が精神衛生や神経心理学に及ぼす影響を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 長崎大学の精神医学の授業では、災害によるトラウマについては言及されているが、自然環境については触れられていない。	

1.8. あなたの医学部のカリキュラムは、健康、個々の患者に提供される食事と水の安全保障、生態系の健康、気候変動との関係を扱っていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 長崎大学医学部の栄養学の授業では、環境に関するトピックは扱っていない。	

1.9. あなたの医学部のカリキュラムは、SES(Socio-economic status)の低い人々、女性、有色人種、先住民、子ども、ホームレス、高齢者など、社会から疎外された人々に対する気候変動の大きな影響を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない

評価理由: 長崎には離島が多く、そこで独自の医療を学ぶ機会が多いが、気候変動とは関係ない。

1.10. あなたの医学部のカリキュラムでは、気候変動が世界的に及ぼす地域間の不平等な健康への影響を取り上げていますか？

3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない

評価理由: 長崎県は離島も多く、医療格差も存在する。私たちは「医と社会」の授業で、こうした医療サービスが地域やその気候に左右されやすいことを学んでいる。

Curriculum: Environmental Health & the Effects of Anthropogenic Toxins on Human Health

1.11. あなたの医学部のカリキュラムでは、産業等で排出される環境毒性を有する物質（大気汚染、農薬など）の生殖への影響を取り上げていますか？

3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない

評価理由: 長崎大学医学部「公衆衛生学」の授業において、身の回りに存在する内分泌かく乱化学物質へのヒトの曝露が生殖に及ぼす影響について講義されている。学生は、内分泌系と生殖系に関する講義での学習と関連させることにより、該当トピックを理解することができる。(3点)

1.12. 医学部のカリキュラムは、大学周辺の地域社会に関連する、人が引き起こした環境への悪影響に関する内容を扱っていますか？

3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない

評価理由: 長崎大学医学部(旧長崎医科大学)は、世界で唯一被爆した医学部である。そのため、核兵器廃絶に対する市民の共通認識が、原爆後医療研究所の設立につながった。また平和と原爆に関する授業がカリキュラムに組み込まれた。(3点)

1.13. あなたの医学部では、地球規模の健康解決に不可欠な要素として、先住民の知識や価値観の重要性をどの程度強調していますか？	
3	先住民の知識と価値観は、医学部のプラネタリーヘルス教育全体に統合されている。
2	プラネタリーヘルスの実現に不可欠な要素としての先住民の知識と価値観は、コアカリキュラムの講座に部分的に含まれている。
1	プラネタリーヘルスの実現に不可欠な要素としての先住民の知識と価値観は、選択科目に部分的に含まれている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 上記の通り	

1.14. 医学部のカリキュラムでは、SESの低い人々、女性、有色人種、子ども、ホームレス、先住民、高齢者など、社会から疎外された人々に対する人が引き起こした環境への大きな影響を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 地球温暖化の授業で、教授はグラフや図を用いて、海面上昇による土地の損失が、沖合の島国や大陸の海岸沿いで、将来深刻な事態になる可能性があることを説明した。	

Curriculum: Sustainability

1.15. あなたの医学部のカリキュラムは、野菜中心の食事がもたらす環境と健康の両方への利益を取り上げていますか？	
3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由 上記の通り	

1.16. あなたの医学部のカリキュラムの中では、医療システムの二酸化炭素排出量について取り扱われていますか？	
--	--

3	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で深く掘り下げられている
2	このトピックは、コアカリキュラムに含まれる講座の中で簡潔に説明されている。
1	このトピックは、選択科目の中で取り上げられている。
0	このトピックに関する科目、講座はない
評価理由: 上記の通り	

1.17. あなたの医学部のは、コアカリキュラムの中で持続可能な臨床実践のために必要な以下に示す要素(内容)を教えてくださいか？	
2	過剰な医療化、過剰な検査、過剰な治療を避けることで、健康と環境に良い影響を与える。
2	医薬品が環境に与える影響と、気候変動による健康被害の原因としての医薬品の過剰処方についてあるいは、可能な限り非処方であること、そしてその環境と健康の両方に利益があることについて
1	2型糖尿病に対する運動やヨガ、精神疾患に対するガーデニングのような社会的グループ活動、自転車計画のようなアクティブな交通手段など、適切な場合には、薬物以外の症状管理による健康と環境の両方への利益。これは英国では一般的に社会的処方として知られている。
1	外科医療が地球の健康と気候危機に与える環境影響と、それを軽減する方法
1	麻酔ガスがヘルスケアの二酸化炭素排出量に与える影響と、静脈麻酔の徹底や温室効果ガス排出量を抑えた環境負荷の少ない麻酔ガスの選択など、麻酔による環境への影響を軽減する方法
1	吸入器が医療機器による二酸化炭素排出に与える影響と、定量吸入器に対する乾燥粉末吸入器の環境上の利点。
1	医療クリニックにおける廃棄物の発生と、臨床活動における廃棄物削減のための戦略(例:入院患者や外来患者における単回使用品目)
	<p>評価理由:</p> <p>非薬物療法 長崎大学の「内分泌代謝学」の講義で、食事療法と運動療法についての講義がある。その中で、これらの療法の意義と有効性、さらには実施した場合の目標値について具体的に言及されている。</p> <p>麻酔ガス 長崎大学の外科治療学では、静脈麻酔薬をできるだけ使用するよう講義し、笑気ガスは使用しないこと、吸入麻酔薬は温室効果ガスであるため使用頻度を減らすことなどを講義している。</p>

Curriculum: Clinical Applications

1.18. 臨床実習の際、患者と接するトレーニングにおいて、あなたの医学部のカリキュラムは、気候変動の健康への影響について患者と会話するための戦略を紹介していますか？	
2	はい、コアカリキュラムには、気候変動について患者と会話するための戦略が紹介されています。

1	はい、選択科目の中で、気候変動について患者と会話するための戦略が紹介されています。
0	気候変動について患者と会話するための戦略は紹介されていない
評価理由:長崎大学医学部には、上記の内容を教える専門家がない。	

1.19. 患者との出会いのためのトレーニングにおいて、あなたの医学部のカリキュラムはばく露歴を取るための戦略を紹介していますか？	
2	はい、コア・カリキュラムにはばく露歴を確認するための戦略が含まれています。
1	選択科目でばく露歴を確認するための戦略が紹介される。
0	いいえ、カリキュラムにはばく露歴の戦略に関する内容は含まれていません。
評価理由:長崎大学医学部では、間質性肺炎や肺がんの原因物質であるアスベストへの曝露歴、職業性粉じん曝露歴、家庭での生活環境などについての問診の重要性と問診票などを用いた実践的な方法を、クリニカルクラークシップ(外来や病棟での診察時の医療面接)や各論講義の中で繰り返し指導しています。(2点)	

Curriculum: Administrative Support for Planetary Health

1.20. あなたの医学部は現在、持続可能な医療のための教育(ESH)/プラネタリーヘルス教育を実施または改善中ですか？	
4	はい、医学部は現在、ESH/プラネタリーヘルス教育の大幅な改善を図っているところです。
2	はい、医学部は現在、ESH/プラネタリーヘルス教育について細かい改善を行っているところです。
0	いや、現在進行中のプラネタリーヘルス教育の改善はない。
評価理由:長崎大学では、PHRCの活動が広く知られるようになるにつれて、外科治療学など環境に関連するトピックをカリキュラムに取り入れるように改善されました。臨床実習前の外科治療学などの講義では、プラネタリーヘルスに関連したトピックを取り入れるようにしています。また、医と社会の講義では、今年度からプラネタリーヘルスについて触れ、自分の専門分野との関係を説明するようにしている教員もいる。	

1.21. 前述のプラネタリーヘルス/持続可能な医療のための教育というトピックは、コアカリキュラムにどの程度縦断的に組み込まれているか？	
6	プラネタリーヘルス/ESHのトピックは、医学部のコアカリキュラムにうまく組み込まれている。
4	プラネタリーヘルス/ESHのいくつかのトピックは、医学生のコアカリキュラムに適切に組み込まれている。
2	プラネタリーヘルス/ESHは統合されておらず、主に単独の講義で扱われる。

0	持続可能な医療のための教育は最低限しかない。
<p>評価理由: 学生は入学後すぐに前述の必修科目(プラネタリーヘルス入門)を学び、その後専門教育を受け、医療と環境の関係を改めて学んだ後、実際に病院で研修を受ける。これにより、学生は専門知識と環境に関する知識をリンクさせることができる。</p>	

<p>1.22. あなたの医学部では、コース全体を通してプラネタリーヘルスと持続可能な医療をテーマとして取り入れることを特に監督し、責任を負う教員を採用していますか？</p>	
1	はい、医学部には、プラネタリーヘルスと持続可能な医療に関するテーマのカリキュラム統合を監督する特定の教職員がいます。
0	いいえ、医学部には、プラネタリーヘルスと持続可能な医療に関するテーマのカリキュラム統合を監督する特定の教職員はいません。
<p>評価理由: 長崎大学には、複数の学部の教員で構成される「プラネタリーヘルス推進本部」があり、学内に設置され、プラネタリーヘルスに関する様々な取り組みを推進している。</p>	

Section Total (x out of 72)	36
------------------------------------	-----------

Back to Summary Page [here](#)

Are there additional curriculum resources offered at your medical school or institution not yet asked about that you would like to describe? If so, please do so below.

学祭的な研究

本セクションの概要: 本セクションでは、医学部や大学における、学祭的なプラネタリーヘルス研究を「質」と「量」の両側面から評価する。健康と環境の相互作用は複雑かつ多因子である。気候変動が環境科学の観点から広範に研究されてきたのに対し、「プラネタリーヘルス」は新たな分野である。優秀な研究者と研究資源を持つ保健医療をリードする機関として、医学部は気候変動や環境毒性を有する物質の健康への影響を研究する研究に資金を提供すべきである。気候変動が人間の健康に与える影響が強調されると、一般市民や政策立案者の関心が高まるため、この義務は特に強い。

1. あなたの医学部には、プラネタリーヘルスや医療/ヘルスケアの持続可能性に関する研究に従事している研究者はいますか？

3	医学部にはプラネタリーヘルスや医療/ヘルスケアの持続可能性を主な研究テーマとする教員がいる。
2	医学部にはプラネタリーヘルスや医療/ヘルスケアの持続可能性に関連した研究をしている教員はいるが、それは彼らの主な研究テーマではない。
1	この大学には、プラネタリーヘルスや医療/ヘルスケアの持続可能性に関する研究者はいるが、医学部とは関係ない。
0	いいえ、現在、大学や医学部には、プラネタリーヘルスや医療/ヘルスケアの持続可能性に関する研究者はいません。

評価理由: 長崎大学熱帯医学研究所の渡辺教授は、主に環境問題と健康問題の関係について研究しており、そのテーマのひとつがプラネタリーヘルスと密接に関連している。彼は「*Transdisciplinary Research Priorities for Human and Planetary Health in the Context of the 2030 Agenda for Sustainable Development(2020)*」という論文を書いた。(3点)

2.2. あなたの大学には、学祭的なプラネタリーヘルスの研究のための専門部署や研究所がありますか？

3	学祭的なプラネタリーヘルス研究のための専門の学部や研究所が少なくとも1つある。
2	現在、学祭的なプラネタリーヘルス研究のための学部や研究所はないが、今後3年以内に開設する計画がある。
1	産業医学や環境医学関連の研究部門はあるが、プラネタリーヘルスのための学祭的な部門や研究所はない。
0	専門の部署や研究所はない。

評価理由: 2022年10月、「プラネタリーヘルス学環」という新しい大学院が設立された。新興感染症、気候変動、生態系破壊など、人間の健康や社会に影響を及ぼす問題を、地球生態系レベルで解決することを目指す。また、長崎大学では、医学部に2名(医学博士、医学博士)の教員からなる「プラネタリーヘルス推進委員会」を設置し、プラネタリーヘルスやヘルスケアの持続可能性に関する研究を行っている。

2.3. 気候変動や環境悪化による不平等な影響を受けている地域社会が、医学部の研究アジェンダについて意見を述べたり、決定したりするプロセスはありますか？

3	気候や環境の不公正の影響を受けているコミュニティの人々が、気候や環境に関する研究課題の決定権を持つプロセスがある。
2	そう、気候や環境の不公正によって影響を受けているコミュニティの人々が、気候や環境に関する研究課題に助言、提言するプロセスがある。
1	今のところ該当するプロセスはないが、地域住民が研究課題に関して助言を与えたり、決定を下したりするプロセスを確立しようと努力しています。
0	今のところ、そのようなプロセスはなく確立される予定もない。

評価理由: 東日本大震災と原発事故が発生した2011年から、長崎大学医学部は市民と専門家の意見交換会を開催している。

2.4. あなたの研究機関には、健康と環境に関連する現在進行中および過去の研究を一元化したプラネタリーヘルスに関するウェブサイトがありますか？

3	健康や環境に関連する様々なキャンパスリソースを一元化した、使いやすく、十分に包括的なウェブサイトがあり、そこには、今後のイベント、所属大学におけるプラネタリーヘルス分野のリーダー、関連する資金提供の機会など、すべてが含まれている。
2	健康と環境に関連するさまざまな学内リソースを一元化しようとするウェブサイトはあるが、使いにくかったり、更新されていなかったり、十分に網羅されていなかったりする。
1	この教育機関にはサステナビリティ・オフィス(ここでは学務の施設環境課など)のウェブサイトがあり、健康や環境に関する資料が掲載されている。
0	該当するウェブサイトは存在しない。

評価理由: 長崎大学には、「プラネタリーヘルス」に関する内容をまとめたウェブサイトがある。このウェブサイトには、惑星の健康に貢献することの意義や、惑星の健康に関する学長からのメッセージが掲載されている。

<https://www.plh.nagasaki-u.ac.jp/>

2.5. あなたの研究機関は、最近、プラネタリーヘルスに関連するテーマの会議やシンポジウムを主催しましたか？

4	はい、医学部は過去1年間に少なくとも1回、プラネタリーヘルスに関連するテーマの会議やシンポジウムを主催しました。
3	はい、大学は過去1年間に少なくとも1回、プラネタリーヘルスに関連するトピックに関する会議またはシンポジウムを主催しました。
2	はい、大学では過去3年間、プラネタリーヘルスに関するトピックの会議(シンポジウム)を主催してきました。

1	大学は、直接的に会議を主催したことはないが、地元のプラネタリーヘルスに関連するイベントに財政的な支援をしている。
0	いいえ、大学は過去3年間、プラネタリーヘルスに関するトピックの会議を主催していません。
<p>評価理由: 長崎大学は昨年5月、日本医療政策機構 (HGPI) との共催で「長崎プラネタリーヘルス専門家会合」を開催した。国内外の専門家による講演が行われ、参加者はCOP27でも議論されている喫緊の課題である気候変動問題を再認識し、深く考えることができた。 https://www.plh.nagasaki-u.ac.jp/534/</p>	

<p>2.6. あなたの医学部は、国内または国際的なプラネタリーヘルスまたはESHに関連する組織(学会/アライアンス)のメンバーですか？</p>	
1	医学部は国内または国際的なプラネタリーヘルスまたはESHに関連する組織のメンバーです。
0	はい、医学部は国内または国際的なプラネタリーヘルスまたはESH組織のメンバーではない。
<p>評価理由: 長崎大学は2020年8月、プラネタリーヘルスアライアンスに加盟した。</p>	

Section Total (x out of 17)	15
------------------------------------	-----------

Back to Summary Page [here](#)

Are there additional research resources offered at your medical school or institution not yet asked about that you would like to describe? If so, please do so below.

地域への働きかけ、啓蒙活動

本セクションの概要: このセクションでは、プラネタリーヘルスに関連した地域社会への働きかけや啓蒙活動への医学部の関わりを評価する。プラネタリーヘルスの研究と教育は必要ではあるが、いまだ十分ではない。医学部は、環境の健康被害から最も影響を受ける地域社会とも直接関わることが重要である。気候変動は、権力や資源を持つ人々によって引き起こされた問題ではあるが、その影響は、恵まれない人々や有色人種のコミュニティに不平等な形で及んでいる。医学部は、気候変動や公害の影響を受けている地域社会と連携し、環境衛生の脅威に関する情報を共有し、変化を共に提唱し、学生がこの活動に参加する機会を提供すべきである。

3.1. あなたの医学部は、プラネタリーヘルスを促進するために地域団体と協定を結び連携していますか？

3	医学部は、プラネタリーヘルスを促進するために、複数の地域団体とパートナーシップを結び連携しています。
2	はい、医学部は、プラネタリーヘルスを促進するために、ある(1つ)地域団体と有意義なパートナーシップを結び連携しています。
1	大学は地域団体とパートナーシップを結び連携しているが、医学部はその提携の一部ではない。
0	そのようなパートナーシップは存在しない。

評価理由: 長崎大学は国立環境研究所とパートナーシップを結んだ。

3.2. あなたの医学部は、プラネタリーヘルスに関して、地域社会に向けた公開講座やイベントを提供していますか？

3	医学部では、少なくとも毎年1回、地域に密着した講座やイベントを開催している。
2	医学部は少なくとも年に1回、地域社会に開かれた講座やイベントを開催しているが、それらは主に市民のために作られたものではない。
1	大学は、地域社会に向けた講座やイベントを提供しているが、医学部はそれらのコースやイベントの企画には関与していない。
0	大学や医学部は、このような地域に密着した講座やイベントを提供していない。

評価理由: 昨年までは「プラネタリーヘルス」をテーマにした公開講座(「リレー講座」)があったが、今年はない。

3.3. あなたの医学部では、プラネタリーヘルスや持続可能な医療に関連する問題を、大学の最新の情報誌等で定期的に取り上げていますか？

2	はい、全学生は定期的に、プラネタリーヘルスや持続可能な医療/ヘルスケアに関する最新情報を受け取ります。
---	---

1	はい、プラネタリーヘルスや持続可能な医療/ヘルスケアに関するトピックは、一部の情報誌に含まれることがあります。※定期的にプラネタリーヘルスについて情報の発信がある場合は2を選択
0	学生たちは、プラネタリーヘルスや持続可能な医療/ヘルスケアに関する情報を受け取っていない。
評価理由: 2023年9月まで、河野前学長は学内メールでプラネタリーヘルスに関する情報を積極的に発信していた。	

3.4. 大学または主な提携病院は、専門職としてのキャリアの中で、プラネタリーヘルスと持続可能な医療に関する知識と技能が常に最新のものであることを保証することを目的として、卒業後の個人を対象とした専門職教育活動に取り組んでいるか。	
2	はい、大学または主な提携病院は、卒後医療提供者を対象に、プラネタリーヘルスや持続可能な医療に関連する複数の対面またはオンラインの講座を提供している。
1	はい、大学または主な提携病院は、卒業後の医療提供者を対象に、プラネタリーヘルスや持続可能な医療に関連する講座を1つ開講している。
0	大学が提供するカリキュラムには、このようなアクセスしやすい
評価理由: 該当する講座は存在しない。	

3.5. あなたの医学部またはその付属教育病院は、環境要因(やそのばく露)による健康への影響に関する患者向けの利用しやすい教材を用意していますか？	
2	はい、医学部やすべての付属病院には、患者さん向けの利用しやすい教材があります。
1	一部の提携病院では、患者向けに利用しやすい教材を用意している。
0	どの提携病院にも、患者向けの利用しやすい教材はない。
評価理由: 後述する翻訳本を除いて、関連する資料は見つからない。	

3.6. あなたの医学部やその付属教育病院は、気候変動が健康に与える影響について、患者向けに利用しやすい教材を用意していますか？	
2	はい、医学部やすべての付属病院には、患者さん向けの利用しやすい教材があります。
1	一部の提携病院では、患者向けに利用しやすい教材を用意している。
0	どの提携病院にも、患者向けの利用しやすい教材はない。
評価理由: 長崎大学は昨年、 <i>PLANETARY HEALTH</i> の翻訳本を出版した。これは、プラネタリーヘルス概論のテキストとしてだけでなく、市民(患者)がプラネタリーヘルスを理解するための本としても使われている。	

Section Total (x out of 14)	6
------------------------------------	----------

Back to Summary Page [here](#)

Are there additional community engagement and advocacy resources offered at your medical school or institution not yet asked about that you would like to describe? If so, please do so below.

学生主導のプラネタリーヘルス・イニシアティブの支援

本セクションの概要 このセクションは、学生が主導するプラネタリーヘルスに関連する活動に対する、一連の資金援助、フェローシップ、プログラム、学生グループなどの教育機関の支援を評価するものである。プラネタリーヘルスは新しい分野であり、気候変動によって深く形作られる未来に直面する若者である学生は、教育機関において最初にこの分野に携わることが多い。教育機関は、学生が持続可能性の質向上(QI)の取り組みに参加したり、興味のある分野の指導者を見つけたり、プラネタリーヘルスプロジェクトのための資金援助を受けたりできるような支援を提供すべきである。

4.1. あなたの医学部または大学は、サステナビリティへの取り組みやQIプロジェクトの実施に関心のある医学生を支援していますか？

2	はい、医学部または大学は、持続可能性に関するイニシアティブ/QIプロジェクトを実施する学生に助成金を提供しているか、持続可能性に関するQIプロジェクトがコア・カリキュラムの一部となっている。
1	医学部や大学は、(助成金や縦断的な要件を満たすために)持続可能なQIプロジェクトを奨励し、学生がこれらのプロジェクトで成功するのを支援するためのリソースを提供しているが、学生が利用できる資金はなく、参加する義務もない。
0	医学部も大学も、持続可能な取り組みやQIプロジェクトの機会や支援は提供していない。

評価理由: 長崎大学では、「PHASEプログラム」と呼ばれるプログラムをプラネタリーヘルスの教育活動の一環として行っている。PHASEプログラムでは、ケニアへの短期・長期留学や、2週間の集中コースがあり、いずれも医学生がプラネタリーヘルスについて学べるように工夫されている。これらのプログラムには資金が提供される。

4.2. あなたの大学では、医学生がプラネタリーヘルスや持続可能な医療に関連した研究を行う機会を提供していますか？

2	大学には、プラネタリーヘルス/持続可能なヘルスケア研究に関心のある学生のための特定の研究プログラムやフェローシップがある。
1	学生がプラネタリーヘルス/持続可能なヘルスケアに関連した研究を行う機会はあるが、これらは学生が自発的に探し、空き時間に実行する必要がある。
0	学生がプラネタリーヘルス/持続可能なヘルスケア研究に従事する機会はない。

評価理由: 以前は、学生にプラネタリーヘルスに関する研究に参加する機会を与えるコンテストがあったが、今はそのようなイベントはない。

4.3. 医学部には、医学生がプラネタリーヘルスおよび/または持続可能な医療活動や指導者に関連する具体的な情報を見つけることができるウェブページがありますか？

2	医学部には、プラネタリーヘルスや持続可能な医療に関連する具体的な情報を掲載したウェブページがあり、関連する取り組みに関する最新情報や、指導者となりうる人物の連絡先などが掲載されている。
1	医学部のウェブページには、医学部内のプラネタリーヘルスや持続可能なヘルスケアに関するプロジェクトや指導者についての情報が掲載されているが、重要な情報が欠けている。
0	プラネタリーヘルスや持続可能なヘルスケアのプロジェクトや指導者を探すための、医学部専用のウェブページはない。
評価理由：現在、長崎大学のウェブページには、このようなメンターと連絡を取ったり、学生主導の活動について知ることができるものはない。	

4.4. あなたの医学部には、教職員アドバイザーによる支援を受けながら、学内でプラネタリーヘルスへの関与、研究、啓蒙活動の機運を高めることを目的とした学生グループが登録されていますか？	
2	はい、私の医学部には、教授陣のサポートのもと、プラネタリーヘルスや医療における持続可能性に取り組む学生団体があります。
1	はい、私の医学部にはプラネタリーヘルスや医療における持続可能性に取り組む学生団体があるが、教員のサポートがない。
0	いいえ、私の大学には、プラネタリーヘルスやヘルスケアにおける持続可能性を専門とする学生団体はありません。
評価理由：長崎大学には、プラネタリーヘルスをはじめとする社会問題の解決をテーマに活動する学生グループ「ししのこプロジェクト」がある。このグループは森保妙子助教授の指導を受けている。(2点)	

4.5. カリキュラムの改革や持続可能な活動の実施を提唱するために、医学部や大学の審議会の委員を務める、持続可能性に関心のある学生団体があるか。(そのような委員会に学生が参加しているか。)	
1	はい、医学部や大学の協議会／委員会に学生代表が参加しています。
0	いいえ、そのような学生代表はいません。
評価理由：長崎大学では、次年度以降のカリキュラムを審議するカリキュラム評価委員会に学生代表が正式メンバーとして参加している。	

4.6. 過去1年間に、大学は、以下のカテゴリーにおいて、1つ以上の共同カリキュラムによるプラネタリーヘルス・プログラムまたはイニシアティブを実施しましたか？(各1点)	
1	学生が有機農業や持続可能な食糧システムの経験を積むことができるプロジェクトで、庭園、農場、地域支援型農業(CSA)、漁業プログラム、都市農業プロジェクトなどがある。

1	学生を対象とした、プラネタリーヘルスに関連するパネル、講演者シリーズ、または同様のイベント。
1	学生が、地元の環境公正コミュニティのメンバーから、彼らが直面している気候や環境に関する課題、および保健専門家がコミュニティと協力してこれらの曝露や影響に対処する方法について直接学ぶイベント。
1	プラネタリーヘルスに関連する文化芸術イベント、インスタレーション、パフォーマンスで、学生を想定したもの。
1	人為的な環境影響に対する地域社会の回復力の構築に関連する、地域ボランティアの機会。
1	大自然またはアウトドア・プログラム(生徒のためにハイキング、バックパッキング、カヤックなどの遠足を企画するものなど)
<p>評価理由:</p> <p>2 前述のリレー講義</p> <p>3 長崎大学では、本土から遠く離れた対馬を訪れ、対馬のプラネタリーヘルスについて学ぶプログラムがある。</p> <p>6 環境に関心のある長崎大生は、入学後に野外プログラムに参加できる。</p>	
セクション合計 (15点満点中)	
8	

サマリーページに戻る[here](#)

あなたの医学部または教育機関で提供されている学生主導のリソースで、まだ質問されていないものがありますか。ある場合は、以下にご記入ください。

施設の持続可能性

本セクションの概要: このセクションでは、医学部または医療機関による持続可能な取り組みへの支援などを評価する。医療産業は、温室効果ガス排出の主要な原因であると同時に、地域や地球規模の生態系に害を及ぼす公害の原因でもある。医療は本来、資源を大量に消費する事業であるが、医療部門は世界をより持続可能な未来へと導く態勢が整っている。そのためには、エネルギーの調達先からインフラの構築方法、投資先企業に至るまで、システムの運用方法のあらゆる側面を精査する必要がある。私たちの医学部、診療所、病院は、持続可能な実践の基準を設定し、環境への影響を最小限に抑えることに関して何が可能であるかを示さなければならない。

5.1. あなたの医学部や大学にはサステナビリティオフィス(キャンパスにおいて持続可能性に関する構想のリーダー的役割を果たすもの)がありますか。	
3	キャンパスのサステナビリティを専門に担当する複数の常勤スタッフがいるOffice of Sustainabilityがある。サステナビリティオフィスがキャンパス全体を対象としている場合、医学部において、少なくとも1名のサステナビリティ担当のスタッフが任命されている。
2	キャンパスの持続可能性に関する事柄を専門に担当する常勤スタッフが1名以上いるが、医学部や病院のサステナビリティを担当する特定のスタッフはいない。

1	キャンパスのサステナビリティを専門に担当する1名以上の常勤スタッフがいるOffice of Sustainabilityはあるが、医学部のサステナビリティを担当する特定のスタッフはいない。
0	キャンパスのサステナビリティを監督するスタッフや組織は存在しない。
<p>評価理由: 長崎大学では、全学的な委員会として「環境・施設管理委員会」を設置し、各部署からの情報を収集し、環境負荷の改善に取り組む環境報告書を作成するなど、学内の環境管理を行っている。</p>	

5.2. 二酸化炭素排出量を削減するために、どの程度意欲的に取り組んでいますか。	
5	2030年までにカーボンニュートラルを達成するための計画を文書化し、承認している。
3	2040年までにカーボンニュートラルを達成するための計画を文書化し、承認している。
1	2040年までにカーボンニュートラルを達成するという目標を掲げているが、その目標を達成するための計画を策定していない、あるいはその計画が不十分である。
0	上記の要件のいずれにも該当しない。
<p>評価理由: 長崎大学では政府の基本方針に従い、可能な限り温室効果ガス等の排出削減に配慮した契約の締結に努め、毎年二酸化炭素排出量の削減を図っている。</p>	

5.3. 医学部が教育に使用する施設(病院を除く)は、再生可能エネルギーを利用しているか？	
3	医学部の施設は100%再生可能エネルギーで運営されている
2	医学部の施設は、エネルギー需要の80%以上を敷地外または敷地内の再生可能エネルギーから調達している。
1	医学部の施設は、エネルギー需要の20%以上を敷地外または敷地内の再生可能エネルギーから調達している。
0	医学部の施設は、敷地外または敷地内の再生可能エネルギーから、エネルギー需要の20%未満を調達している。
<p>評価理由: 長崎大学医学部坂本キャンパスには太陽光発電システムが設置されているが、その割合は全体の1%にも満たない。</p>	

5.4. 医学部キャンパス内の新旧の建物について、持続可能な建築手法が活用されているか。新建築物の設計・建設や旧建物の改築は、公表されている持続可能性の評価システムや建築基準法・ガイドラインに準拠しているか。	
3	医学部キャンパス内の新しい建物には持続可能な建築手法が採用され、古い建物の大部分はより持続可能なものに改修されている。
2	医学部キャンパス内の新しい建物には持続可能な建築手法が用いられているが、古い建物のほとんどは改修されていない。

1	持続可能な建築の実践は、新しい建物では不十分である。
0	新しい建物の建設において、持続可能性は考慮されていない。
<p>評価理由: 長崎大学医学部では、建物の新築や大規模改修の際に、CASBEEと呼ばれる建物の持続可能性を評価するフォーマットを採用している。</p>	

<p>5.5. 医学部または大学は、学生に環境にやさしい交通手段を奨励・提供し、通学による環境への影響を軽減するための戦略を実施しているか。</p>	
2	医学部または大学は、安全なアクティブ交通、公共交通、相乗りなど、環境に優しい交通手段を奨励・提供する戦略を実施しており、これらの選択肢は学生によって十分に活用されています。また、キャンパスの立地上、持続不可能な交通手段を利用する機会がほとんどない。
1	医学部や大学は、環境に優しい交通手段を提供するための戦略をいくつか実施しているが、その手段へのアクセスや宣伝が不十分である。
0	医学部または大学は、環境に優しい交通手段を奨励し、提供する戦略を実施していない。
<p>評価理由: 長崎大学医学部のホームキャンパスである文教キャンパスと坂本キャンパスは、市の中心部に位置し、キャンパス間の移動は自転車や徒歩で可能であり、バスや路面電車などの公共交通機関も充実している。各キャンパスの駐車スペースには限りがあるため、障害者、妊産婦、遠方から通う職員や学生を優先し、環境に配慮した戦略をとっている。</p>	

<p>5.6. あなたの医学部では、有機物リサイクルプログラム(コンポスト)と従来型リサイクルプログラム(アルミ/紙/プラスチック/ガラス)を実施していますか。</p>	
2	医学部には学生や教職員が利用できるコンポストとリサイクルの両方のプログラムがある。
1	医学部には、学生や教職員が利用できるリサイクル・プログラムかコンポスト・プログラムのどちらかがあるが、両方はない。
0	医学部にはコンポストやリサイクルのプログラムはない。
<p>評価理由: 長崎大学医学部のホームキャンパスである文教キャンパスと坂本キャンパスには、コンポスト用のゴミ箱はないが、可燃用、不燃用、リサイクル用の3つのゴミ箱が設置されている。ゴミ箱は建物入口、更衣室前、食堂に設置されており、移動前にきちんと分別してゴミを捨てることができる。また、授業スケジュールや使用教室などの情報は、清掃担当者が共有している。</p>	

<p>5.7. 医学部は、キャンパス内の飲食物の選択を決定する際に、持続可能性の基準を適用しているか(例: 地元産の食材の調達、食肉の削減、プラスチック包装の削減など)。</p>	
3	はい、医学部は、食肉不使用の日(meat-free days)や赤身肉不使用の日など、飲食物に関する適切な持続可能性要件を設け、飲食物の持続可能性を高める取り組みを行っている。
2	食品と飲料の持続可能性に関するガイドラインはあるが、不十分であるか、あるいは任意である。医学部は、食品と飲料の持続可能性を高める取り組みを行っている。

1	食品と飲料の持続可能性に関するガイドラインはあるが、不十分であるか、または任意である。医学部は、飲食物の持続可能性を高める取り組みを行っていない。
0	飲食物に関する持続可能性のガイドラインはない。
評価理由: 医学部は、年間スケジュールやオンライン診療の変更に関する情報を生協に提供することで、店内食品廃棄や食品ロスの削減に取り組んでいる。	

5.8. 医学部または大学は、供給調達に関する意思決定を行う際に、持続可能性の基準を適用しているか。	
3	医学部は供給調達に関する適切な持続可能性要件を備えており、調達の持続可能性を高める取り組みを行っている。
2	供給調達に関する持続可能性ガイドラインはあるが、不十分あるいは任意である。医学部は調達の持続可能性を高める取り組みを行っている。
1	供給調達に関する持続可能性ガイドラインはあるが、不十分または任意である。医学部は調達の持続可能性を高める取り組みを行っていない。
0	供給調達に関する持続可能性ガイドラインはない。
評価理由: 国による「環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき、環境物品等の調達が行われている。	

5.9. 医学部で開催されるイベントには、持続可能性に関する要件やガイドラインがありますか。	
2	医学部で開催されるすべてのイベントは、持続可能性の基準に従わなければならない。
1	医学部は持続可能性対策を強く推奨または奨励するが、必須ではない。
0	医学部行事に関する持続可能性のガイドラインはない。
評価理由: 医学部のオープンキャンパスなどでは、キャンパス内の混雑を避け、環境負荷低減に貢献するため、自家用車の乗り入れは原則禁止としている。	

5.10. あなたの医学部には、研究室のスペースをより環境に配慮した持続可能なものにするためのプログラムや取り組みがありますか。	
2	はい、医学部には研究室の環境をより持続可能なものにするためのプログラムや取り組みがある。
1	研究室をより環境的に持続可能なものにするためのガイドラインはあるが、プログラムや取り組みはない。
0	医学部では、研究室をより持続可能なものにするためのガイドライン、プログラムや取り組みはない。
評価理由: 長崎大学には研究室のスペースをより持続可能なものにするための	

プログラムや取り組みがなかった。

5.11. あなたが通う大学の医学部の寄付の内訳には化石燃料の会社が含まれていますか？

4	この教育機関は化石燃料から完全に切り離されており、切り離された資金を再生可能エネルギー企業または再生可能エネルギーキャンパス構想に再投資することを約束している。
3	同機関は化石燃料から完全に切り離されている。
2	化石燃料企業から部分的に切り離されている、または完全に切り離すことを表明しているが、現在も化石燃料への投資を行っている。
1	この教育機関は化石燃料会社から撤退していないが、教員や学生が組織的に撤退を提唱している。
0	この機関は化石燃料企業に投資しており、それを変える努力はしていない。

評価理由: 長崎大学の寄付の内訳に化石燃料企業は含まれていない。長崎大学が提案した「洋上風力発電と洋上養殖の共存に関する研究」が、三井物産環境基金の2018年度「未来につながる社会づくり研究助成」に採択された。持続可能な養殖による水産業の再生と、本格的な洋上風力発電産業の創出が期待される研究で、2019年度から3年間推進される

セクションの合計点数(32点満点中)

18

サマリーページに戻る [here](#)

あなたの医学部または教育機関で提供されている持続可能性に関する資料で、まだ質問されていないものがありますか？もしあれば、以下にご記入ください。

Grading

セクションの概要

このセクションでは、各項目の点数についてのまとめである。各教育機関のセクションごとの点数および全体の点数合計を評価する。各セクションの点数合計をそのセクションの満点で割り、そのセクションの点数獲得率をパーセンテージで算出する。機関全体の点数は、各セクションの点数を加重平均したもので、カリキュラムの比重が高い。

Letter Grade*	Percentage
A	80% - 100%
B	60% - 79%
C	40% - 59%
D	20% - 39%

F	0% - 19%
---	----------

*各グレードの括りの中で、上位5%(5~9%)のスコアには「+」が付き、下位5%(0~4%)のスコアには「-」が付く。例えば、78%の得点はB+となる。

長崎大学医学部のプラネタリーヘルスレポートカード結果
以下の表は、長崎大学医学部医学科の各セクションの評点と総合評点です。

項目	素点 %	Letter Grade
カリキュラム (30%)	$(36/72) \times 100 = 50\%$	C
学際的研究 (17.5%)	$(15/17) \times 100 = 88.2\%$	A
地域啓蒙 (17.5%)	$(6/14) \times 100 = 42.86\%$	C ⁻
学生支援 (17.5%)	$(8/15) \times 100 = 53.33\%$	C
施設の持続可能性 (17.5%)	$(18/32) \times 100 = 56.25\%$	C ⁺
総合評価	$(A \times 0.3 + B \times 0.175 + C \times 0.175 + D \times 0.175 + E \times 0.175) = 57.12\%$	C ⁺

レポートカード評価の推移

セクションの概要

このグラフは、長崎大学が「プラネタリーヘルス・レポートカード」の取り組みに参加した年度の総合評価と各セクション評価の推移を示している。

